

平成26年度

全国大学音楽教育学会
関西地区学会

総会・前期研究会

平成26年7月6日(日) 13:00~17:00
大阪市立総合生涯学習センター(第1研修室)
大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
TEL.06-6345-5000

主催 全国大学音楽教育学会関西地区学会

平成26年度
全国大学音楽教育学会関西地区学会
総会・前期研究会

平成26年7月6日(日) 13:00
大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室

I. 総会 (13:00)

1. 理事会報告
2. 関西地区学会平成25年度活動報告、平成26年度活動計画(案)
3. 関西地区学会平成25年度決算報告、平成26年度予算(案)
4. 諸連絡事項
5. 平成26年度役員改選
6. その他

II. 研究発表 (13:45~14:45)

1. 桐山由香(梅花女子大学)

『音楽づくりにおける幼小連携に関する一考察』

～声によるふしづくりの実践をとおして～』

2. 麓 洋介(愛知教育大学)

『総合表現活動としての音楽作りにおいて”音”を”音楽”にするための』

視点と方法 ～劇音楽「蜘蛛の糸」作曲を通じた実践から～』

Ⅲ. 講演 (15:00～16:30)

講師 永原 恵三 先生

演題 『音楽の実践と研究論文 一合唱研究の事例からの提案一』

永原恵三（ながはら けいそう）先生 略歴

神戸生まれ。県立神戸商科大学（現兵庫県立大学）管理科学科卒（整数論）。神戸大学文学部、文学研究科修了（芸術学）、大阪大学大学院文学研究科単位修得退学（音楽学）、博士（文学）（1999年、大阪大学）。音楽学を谷村晃、山口修、声楽を永井和子、合唱指揮を田中信昭、西洋古楽を宇田川貞夫、Max von Egmondの各氏に学ぶ。ケルンのグレゴリオ聖歌演奏団体 Schola Cantorum Coloniensis のメンバーとしてドイツを中心に活動した。音楽学者としては、西洋音楽と民族音楽の枠を越えて、声の音楽とキリスト教（カトリック）音楽、祭礼の共同体の音楽などについて、フィールドワークを踏まえた実践的な研究をするとともに、音楽を通じて人間を考えるために、洋の東西にかかわらず先人の思索に基づいた理論的研究をしています。声楽家、合唱指揮者としても活動し、音声生理学の理論的根拠に基づいた発声を実践し、合唱のより本来的なあり方を模索しています。

東洋音楽学会理事、民族芸術学会理事、日本声楽発声学会会員。『東洋音楽研究』編集委員（長）、『お茶の水音楽論集』編集委員長、その他学内紀要等の編集委員長を歴任。著書に『合唱の思考』（春秋社、2012）他共著書、論文多数。博士論文主査多数。カトリック浅草教会オルガニスト、聖歌隊指揮者。男声合唱団「コール淡水・東京」指揮指導。

現在、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授（音楽学）。

Ⅳ. 情報交換会 (17:30～19:30)